

4/12~5/22

伝教大師1200年大遠忌記念 特別展

特別展
—会場—
平成知新館

最澄と天台宗のすべて

日本に天台宗を伝へ、仏教界に新風を吹き込んだ伝教大師・最澄(767~822)の1200年の大遠忌を記念し、日本天台宗の始まりから、その教えの広がり、天台思想が生んだ様々な文化、現代へのつながりを、全国に散らばる名宝の数々でたどります。延暦寺の最澄ゆかりの名品をはじめ、関西だけでなく、東北や北陸、中国、四国などに伝わる天台美術の粋ともいえる様々な宝物、貴重な秘仏など、国宝23件、重要文化財71件を含む130件が京都に一堂に集結します。京都からは、少し足を延ばすだけで天台宗の名跡に容易にアクセスできます。まさに町ぐるみの壮大なスケールをもつ必見の展覧会です。



菩薩遊戯坐像(伝如意輪観音)
愛媛・妙妙寺蔵

7/30~9/11

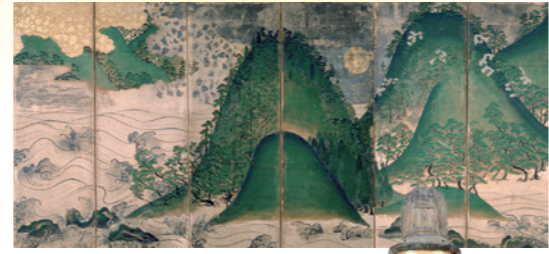
特別展

特別展
—会場—
平成知新館
2F・1F

河内長野の霊地 観心寺と金剛寺

—真言密教と南朝の遺産—

京から高野山に至る街道の合流地点として栄えた歴史をもつ大阪府南部の河内長野市。当地には観心寺と金剛寺という真言密教の古寺があり、この地域における信仰文化の中心を担ってきました。南北朝時代には後村上天皇の行宮(あんくう)として、楠木正成など南朝勢力の拠点となったことでも知られます。当館では2016~19年度に、両寺の文化財調査を実施しました。本展はその成果を公開する機会として、従来知られた名品に加え、新たに発見された寺宝の数々をご紹介します。河内長野の地が伝える濃密な歴史文化をお楽しみください。



国宝 日月四季山水図屏風(右隻) 大阪・天野山金剛寺蔵



重要文化財 伝宝生如来坐像 大阪 観心寺蔵
画像提供:公益財団法人美術院
撮影:金井杜道

10/8~12/4

特別展

特別展
—会場—
平成知新館

京に生きる文化 茶の湯

中国からもたらされた茶を喫する文化は、時代を経ながら徐々に和様化しました。室町時代の唐物を賞玩する武家の茶や、社寺の門前で参詣者に茶を振舞う一服一銭の拡がりなどをへて、「茶の湯」という独自の文化が生み出され、今では日本文化を象徴するものとして、世界で広く認知されるようになりました。本展では、京都にゆかりのある各時代の名品を通して、千年以上も日本の中心にあり、今もなお、茶の湯が生きる京都を中心とした茶の湯文化を紹介します。



重要文化財 遠浦帰帆図
伝牧翁筆 京都国立博物館蔵



国宝 大井戸茶碗
銘喜左衛門
京都 孤篷庵蔵
唐物文琳茶入 酸漿文琳



国宝 教行信証(坂東本) 親鸞筆
京都・真宗大谷派蔵

1/2~1/29

新春特集展示

特集展示
—会場—
平成知新館
1F-2

卯づくし—干支を愛でる—

新春恒例、干支がテーマの特集展示です。2023年の干支、卯(兎)にちなんで、美術の中の兎が大集合します。子どもから大人まで、幅広い層に楽しんでいただきたい展示です。



段に木賊作り土文様小袖(部分)
京都国立博物館蔵

2/4~3/5

特集展示

特集展示
—会場—
平成知新館
1F-2

雛まつりと人形

華やかな御殿飾り雛を中心に、各種の人形とさまざまな京人形を展示します。



享保雛 大内雛
京都国立博物館蔵

3/25~5/21

親鸞聖人生誕850年 特別展

特別展
—会場—
平成知新館

親鸞 生涯と名宝(仮)

2023年は浄土真宗を開いた親鸞聖人(1173~1262)の生誕850年にあたります。京都に生まれ、比叡山で修行し、法然上人の弟子となるも、弾圧を受け越後へと流罪に。その後、関東へ赴き京都へと戻る90年の生涯とその教えは、今も多くの人を魅了して止みません。そんな求道と布教の生涯を自筆の名号、著作をはじめ御影、絵巻など浄土真宗各派の寺院が所蔵する法宝を通して紹介します。生誕の地であり臨終の地でもある京都で親鸞聖人に出遇ってみませんか。



京都国立博物館 年間スケジュール KYOTO NATIONAL MUSEUM Exhibition Schedule 2022.4 — 2023.3

音声ガイド

平成知新館名品ギャラリーでは、音声ガイド(有料)をお楽しみいただけます。日本語、英語、中国語、韓国語のほか、ジュニア版も4か国語でご用意しています。

講堂〈シアター〉

平成知新館地下1階の講堂では、収蔵品に関する特別番組を、350インチの大画面でご覧いただけます。また、上方落語の上演などの有料のイベントも行っています。上映予定や、イベント詳細については、随時ウェブサイトをご確認ください。

関連講座など

平成知新館 講堂では、展覧会や展示作品に関連した講座を随時行っています。講座の予定は、博物館日よりウェブサイトなどでお知らせします。

夏期講座

さまざまな分野の研究者が一つの共通のテーマに沿って、最新の研究成果を盛り込んだ発表を行う集中講座を、毎年夏に開催しています。今年度は「動乱の時代—14世紀」というテーマで8月5日(金)・6日(土)に行います。1日3講、計6講座です。見学会はありません。

*定員100名、有料、要事前申込。
会場：平成知新館 講堂

表紙：国宝 釈迦金棺出現図(部分) 京都国立博物館蔵
(特別展「最澄と天台宗のすべて」にて5月3日～5月22日展示)



ご利用案内



●新型コロナウイルス感染症予防のため、会期や展示期間の変更、入場制限などを行う場合があります。最新情報は当館ウェブサイトなどでご確認ください

開館時間 9:30～17:00 ※入館は閉館の30分前まで
特別展期間中などは開館時間の変更されることがあります
詳しくはウェブサイトなどをご覧ください

名品ギャラリー 〈平常展示〉 観覧料	一般	700円	高校生以下および 満18歳未満、満70歳以上、 障害者とその介護者1名、 キャンパスメンバーズ(含教職員) ※すべて要証明	無料
	大学生	350円		

※特別展については、そのつど定めます。
また、特別展期間中、名品ギャラリーのみの観覧は出来ません。
※名品ギャラリー展示室は、展示作業などのため、一部休室となる場合があります。随時ウェブサイトなどでお知らせします。

休館日 月曜日(月曜日が祝日・休日の場合は開館し、翌火曜日休館)

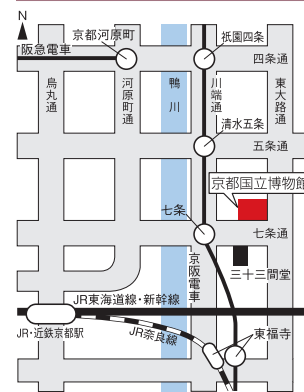
全館休館 7月29日(金)、10月7日(金)、
12月26日(月)～2023年1月1日(日・祝)、3月24日(金)
※都合により臨時休館する場合があります。
随時ウェブサイトなどでお知らせします。

名品ギャラリー 休館日	3月23日(水)	～	4月10日(日)
	5月24日(火)	～	6月12日(日)
	7月26日(火)	～	7月28日(木)
	9月13日(火)	～	10月6日(木)
	12月6日(火)	～	12月25日(日)
	2023年3月7日(火)	～	3月23日(木)

名品ギャラリー休館期間は、下記の料金にて庭園の屋外展示をご覧ください

一般	300円	高校生以下および 満18歳未満、満70歳以上、 障害者とその介護者1名、 キャンパスメンバーズ(含教職員) ※すべて要証明	無料
大学生	150円		

※有料(一般のみ)にてご入館の方には、庭園ガイド冊子がつきます。



交通

- ◎JR…京都駅下車、市バスD1のりばから100号、D2のりばから206・208号系統にて博物館三十三間堂前下車、徒歩すぐ
- ◎近畿バスライズ京都駅八条口のりばから京都女子大学前行にて東山七条下車、徒歩1分
- ◎京都駅よりJR奈良線にて東福寺駅下車、京阪電車にて七条駅下車、徒歩7分
- ◎京阪電車…七条駅下車、徒歩7分
- ◎近鉄電車…近鉄丹波橋駅下車、京阪電車丹波橋駅から出町柳方面行にて七条駅下車、徒歩7分
- ◎阪急電車…京都河原町駅下車、京阪電車祇園四条駅から大阪方面行にて七条駅下車、徒歩7分

ご来館の際は公共交通機関をご利用ください。駐車場は有料となっております

京都国立博物館

〒605-0931 京都市東山区茶屋町527 TEL 075-525-2473 (テレホンサービス)
<https://www.kyohaku.go.jp/>

一般社団法人 清風会の支援を受けて作成しました 2022年2月

Museum Map

京都国立博物館マップ



平成知新館

設計はニューヨーク近代美術館新館、東京国立博物館法隆寺宝物館などを手掛けた谷口吉生氏。日本的な空間構成を取り入れた直線を基調とする展示空間には、陶磁・考古・絵画・書跡・工芸・彫刻といった分野ごとに展示室が設けられています。各展示室ではさまざまなテーマのもと、館藏品・寄託品を取り交えて展示しており、京文化の粋をお楽しみいただけます。作品保護のため1か月～1か月半ごとに展示替えを行っているため、足を運ぶたびに新しい作品との出会いがあります。

明治古都館(重要文化財)

当館のシンボルともいえるレンガ造りの建物。設計者は赤坂離宮(迎賓館)なども設計した、日本で唯一ともいえる宮廷建築家の片山東熊。ヨーロッパの華麗なバロック様式を取り入れながら、東山の自然に調和した美しい景観を作り出しています。玄関の上にある三角形の破風には、仏教世界の美術工芸の神とされる毘首羯磨と伎芸天の像が彫刻されています。昭和44年(1969)に表門、札売場および袖塀とともに国の重要文化財に指定されました。免震改修などの基本計画を進めるため、現在展示は行っておりません。

茶室 堪庵

昭和33年(1958)に上田堪一郎氏より寄贈された、金森宗和好みの真珠庵「庭玉軒」を写したとされる数寄屋造りの茶室です。内部をご覧いただけるほか、茶会などにもご利用いただけます(有料、要予約)。